



●地名・施設名索引

池の原 (いけのばら)5
菰釣山(ともつるしやま)6,7
白井平 (しろいだいら)22
道志の森キャンプ場6,7
的大神
的場 (まとば)
道の駅どうし6,7
みなもと体験館21,23
山伏峠 (やまぶしとうげ)6,7
レストラン HOROHORO26
和出村(わでむら)26

Access



道志手帖

2022 no.26

Contents

gallery 道志村野鳥の仲間たち 俵編み」 山伏峠~菰釣山~どうし道の駅 レストランHOROHORO 佐藤孝一さん ひづるさん 地球気候変動に順応するヤマガラの子育て(2020年~2022年) どうしの山 道志見聞録(お仕事拝見⑤ 道志の民話® 道祖神祭り2022 佐藤太清さんの雪吊り を訪ねて 3 山みちマップ(4) 香西恵 的様 山梨の 香西恵 仲井義晶 『県の石』 石川敬子 ② 鉱物 宇野夏樹 仲井義晶 佐藤八重子 24 10 19 18 14 8 6

「道志手帖」とは? 略して「ドウシテ」。「どうしってどんなところ?」 という関心から生まれた冊子です。 村で生活していて気になったこと、 おもしろいなとおもったこと、 発見や驚きを報告していきます。



表紙写真 米俵の両端につける「桟俵」を 編む (22頁)。

道志の民語 8 的様(長幡地区)



行く途中道志村を通りかかった。 鎌倉幕府の将軍、源頼朝は、富士の巻狩へ 今から800年ほど前の事であった。

長い村である。頼朝は、山を削って流れてく る川の美しさに目をとめた。 ここは、「道志七里」と呼ばれる山間の細 「見事な川じゃ」

「は、は。この辺りはすでに甲斐の国(山梨県

ている。汗を拭いた頼朝は、ふと向こう岸の やかな初夏の風が川を渡って気持ちよく吹い 岩に目を引かれてつぶやいた。 頼朝の一行は、川の岸で一休みした。さわ 「うむ、駒(馬)を止めよ」

「見事な岩じゃ」

たきれいな縞模様の一枚岩があった。 「見事な岩だと申しておる」「は、は、はい。」 「はっ?」 家来が目をやると、対岸に、川水に削られ

弓を取って立ち上がった。 頼朝は、カラカラと笑うと、傍らに置いた 「わしは、あお岩に矢を射たいのじゃ」

暮らしと武芸を薦める頼朝は、 からも先頭に立って弓矢の稽古を続けてきた 「驕る平家は久しからず」と部下に質素な 将軍になって

のである。

「叔父上にはとてもかなわぬが、仕度をせい」と頼朝は、家来に命じた。
し、弓を取っては日本一の名人と謳われた大将であった。その血を引く頼朝の腕前もまた、どんな武将にも負けないほど立派であった。
「足場はどこにいたしましょうか」
「できるだけ遠くにせい」



まった。
家来たちはいっせいに立ち上がり、射場を
探した。しかし、川は谷が深く良い場所が見
探した。しかし、川は谷が深く良い場所が見

は一向にかまわず弓に矢を番えた。来たちは迷ったが、「よいわ。よいわ」頼朝不ここでどうだろうか?」少し遠いので家

ょうほどに。」
「おまちくだされ。ただいま櫓を組みまし

谷間にこだました。

ごしらえの櫓が組み立てられた。 ほどなく、わずかばかりの山の平地に、急

来たちが声をかけた。
「お見通しはいかがでござるか。」下から家

「う む。 」

櫓に登った。 「とっ殿…。」 不安になった家来の一人が

「や、や…お許し下さい。」人間一人の高さったのである。家来は、あわてて櫓の組みな生い茂った木の葉で、的、が隠れて見えなか生い茂った木の葉で、的、が隠れて見えなかました。」人間一人の高さ

待て!

道に立ちはだかる林をぐっと睨みすえた。頼朝は、それを押しとどめると、矢の通り

一声大きく叱ったのである。声はリンリンとそして「じゃまだてすると許さぬぞ。」と、

ごとく隠れてしまった。た木々の葉は。枝を折り、葉は萎れて、ことた木々の葉は。枝を折り、葉は萎れて、こと

ただ驚くばかりであった。 櫓の下の家来は、「あれよ、あれよ…。」と、

ない。頼朝の矢が的に命中したことは言うまでも

祭り、お宮を建てて敬うようになった。は、その後、櫓を組んだ場所を〝的場〟と名は、その後、櫓を組んだ場所を〝的場〟と名は、その後、櫓を組んだ場所を〝的場〟と名が、その後、櫓を組んだ場所を〝的場〟とのである。

1.画 仲井義晶

出典 道志村教育委員会「道志の民話」より



5



1.379 m

煮釣山は山梨と神奈川の県境の山で、甲相国境に根と言かれている稜線上のほぼ西端にあります。東海自然歩道が通っているので道は歩きやすく事標なども整備されています。しかし急な登り下りのかざいどうか多く階段も分いです。両側はかなり急、傾斜のヤセ尾根が、続くので要注意です。 雑木の中で展望はあまり良くありません。 昔はブナが多かったようですが現在はかなりかなくなっています。 山頂近くにはき此いな ひなん 外屋ながあり、山梨県側に約30分下36米が とれます。 山頂からは西に 雄大な事士山が見えます。 こ こ こ こ に あります。

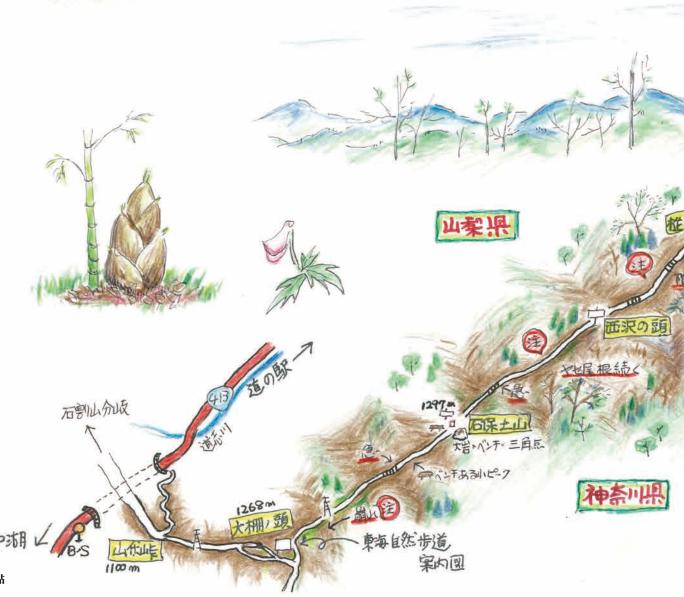
経走のと

· どうし 下山1

必体

参互

• 車2台





です。お元気でしょうか?

道志村の皆さんお久しぶり

眼

化石は富士川層群の貝化

石になります。

その3 山梨の『県の石』②鉱物

た。 久しぶり

に道志へ行った際に なっていて嬉しくなりまし じぐらいに感じられるように は道志道の賑わいを以前と同 きが見えて来たのか、先日、 ナで大騒ぎもようやく落ち着 前回の投稿から1年、コロ

本式双晶水晶』のお話し。 石』の中から山梨県の鉱物 で、今回は『山梨県の県の

日日

石』についておさらい。 という事で、さらっと『県の と忘れられてしまったかな? ていただこうと思います。 き『県の石』について書かせ さて、今回も前回に引き続 掲載が1年も開いてしまう

名度と人気から選ばれたのか 鉱物として他にもマンガンパ うです。山梨県で発見された 期に山梨県牧丘町の乙女鉱 昔から豊富に採れる水晶 気石がありますが、圧倒的知 ンペリー石や苦土フォイト電 晶と呼ばれるようになったそ に研究された事から日本式双 つかって、当時の日本で盛ん くっついた水晶がたくさん見 で二つの結晶がハート形に いたそうな。そんな中、明治 使って水晶細工を特産として

なと思います。 山梨県の特に甲府近辺では



岩溶岩、

鉱物は日本式双晶水

ほんと、面白い形でしょ?

して認定したもので、山梨県 の3部門ある)を『県の石』と 象徴する石(岩石・鉱物・化石 学会が各都道府県それぞれを

『県の石』とは、日本地質

の『県の石』は、岩石が玄武





写真1(右):乙女鉱山の日本式双晶水晶(ハート型)/写真2(左上):乙女鉱山の水晶低温環境(577℃以下) 物の結晶を水晶と呼びます。一般的に「水晶」と言えばこの形ですね。 /写真3 (左下): 乙女鉱山の日本式双晶水晶 (軍配型) エステ レル式やドフィーネ式など双晶にもいくつか種類があり、2つの結晶が85°で規則的に接合しているものを日本式双晶と言います。ハー ト形の他にも軍配型やV型・X型・y型など形の愛称もあります。



写真4: 道志川の転石から見つかった高温石英の日本式双晶

どいつか研究が進んで形にな るといいなと思っています。 .原で小さな発見に挑戦して これを読んでいる皆さんも

るかと……。 た姿形はまた違った魅力があ 派手さは無いけどコロっとし も、これが道志の日本式双晶 してはかなり大きい)だけれど や控えめなサイズ(高温石英と 鉱山の水晶の物に比べるとや 日本式双晶になるのかな? 結晶の幅は10㎜ほどと乙女 まだまだ調査途中で道志の

うの長野の川上村なんかの水

の名産地ならともかく、

ح

たことが無かったのだから。

丹沢山地では一度も耳にし

だって、甲府周辺やその向こ はめちゃくちゃ驚きました。 出るの!?」と、知ったとき かりました。「え!

道志でも

温石英」の日本式双晶が見つ

かってはいないものの、

同じ 「高

ある接合、これも軍配型

0)

石英という鉱物の別の形

双晶の「水晶」こそ未だ見つ

やや形が違うものの、

規則性

一方で道志村では、

日本式

水晶」の日本式双晶

とは

高温石英やその双晶につい わからない事だらけだけれ ではまた次回の連載で。 (宇野夏樹



写真5:道志川で見つかった石英斑岩 道志川の河原石に極稀に見 写真6:石英斑岩から取り出した高温石英 一般的な石英の結晶で の石英(灰色)・普通角閃石(黒)・長石(白)などの鉱物の粒(斑 できます。水晶に観られる六角柱の部分があまり発達せず、六角錐 晶)を含んでいます。



られる岩石で斑状の構造を持つ火成岩です。数mm~15 mmほど ある「水晶」が577℃以下で出来るのに対してそれより高温環境で の部分だけのそろばん玉のような形をしています。

地球気候変動に順応するヤマガラの子育て(2020年-2022年) 道志村 野鳥の仲間たち



野鳥の仲間たち 右上から時計まわりに、ヤマガラ、ルリビタキ、シジュウカラ、ジョ ウビタキ雄、雌(渡り鳥)、エナガ、カワセミ、ウグイス

られた楽園なのかもしれない。 ラの「カラ類」が多く見かけられる。私はま と近い場所としては野鳥たちにとって、秘め 種類の野鳥が住んでいる。 都心から車で90分 ていて、上記に紹介した野鳥以外にも多くの だ見た事がないが、大きなフクロウも生息し 林が多い事もあって、ヤマガラ、シジュウカ 道志村には沢山の野鳥が生息している。

候変動ですべての生き物はその影響を受けて そうはいっても昨今、地球温暖化に伴い気

> ガラだった。裏庭は2本のハナカイドウの木 ぐに窓越しに目に入るようになったのはヤマ と森側に用意している。 かもしれない。移住してからは、餌場を裏庭 が植えてあって、その実を目当てに来ていた いる。別荘として来るようになってから、 す

介したい。(そのうち2年は同じカップルだった。) (2020~2022年) のヤマガラの子育てを紹 きる事がない。地球気候変動の中でのここ3年



そのおかげで沢山の事を日々観察できて、 飽 なったのは、よく身体の毛繕いをしていた。 寒さもこたえていたようだった。ことに気に ものの、まだ小さい身体には雨ばかりでなく はほぼ雨だったと記憶している。毎日雨とい 間もないようなヤマガラが我が家の餌場に姿 う年はそれまでは記憶にない。巣立ちはした をみせた。2020年もそうだったが、6月 太陽の光がなく、ダニが身体に影響を及ぼし ~2020年~

~2021年~

かった。

匹いたが、その後成長した姿をみせる事がな ているようにみえた。巣立ったヤマガラは3

リトリーだからね! この小屋は僕のだから りヤマガラの雄が、「ここは僕の子育てのテ ね!」と高らかに宣言する事から子育てが始 庭の木に野鳥小屋をかけている。例年どお

ほぼ1日、そして何日も鳴き続ける さい身体で声が出てくるほど? と思うほど ゼービー! ビービー! ビービー!」と その鳴き声といったら、どこからその小 2020年より2週間以上早く「ビ

2020年迄だと例年6月頃に巣立って

をしており、4匹が成長し自立した。 時期だったので、早まったのに気付いた。ヤスカラが気候の変動を学習して、早く子育てを始めた事に気が付いた。早まったのに気付いた。 で、子供たちは梅雨時期にはもう立派な身体で、子供たちは梅雨時期にはもう立派な身体で、子供たちは梅雨時期にはもう立派な身体をしており、4匹が成長し自立した。

~2022年~

どうか気になった。3月初め頃になって特別 ラが間違って行動してしまい、餌場に来てい 暑い日が続いた。あの「ビービー! ビー すぎて、半分くらいに切ってしまった。その には野鳥小屋のかかっている木が大きくなり と何度か叫んでしまった。 て、「まだ春じゃないよ! れたかもしれないが、ヤマガラの雄に向かっ 応してしまったようだ。誰か見ていたら笑わ ビー!」の鳴き声が盛んにする。温度に反 為、今年はうちの野鳥小屋で子育てをするか の雌のヤマガラを見る事がなかった。二つ目 マガラは同じ個体だったようだが、昨年まで つとして、カップルの変化があった。雄のヤ さて、今年も変化があった。そのうちの一 気候変動にヤマガ 早すぎるよ!

う?」っと。
たちは? 人は? どうなっていくのだろたちは? 人は? どうなっていくのだろを見ると胸の奥が痛んだ。「この先、生き物る仲間のヤマガラにも盛んに威嚇する。それる仲間のヤマガラにも

どおりになると、さすがにヤマガラの雄も「あ の後、 鳥小屋をかけている木は半分の高さになった に聞こえる音は変わり、長い期間続いた。 不具合を見つけたらしい。修理を始めていた。 でいないはず。この音色をだしている主人公 を突っつく様子を見る事が出来るが、春なの こだまする。秋になるとアカゲラが来て、木 動はなくなった。4月になって、どこからか いう期待が出てきた。 のに今年もここで子育てしてくれるのかなと 「ビービー!」から「コン・コン・コン・コン」 までかけてあった野鳥小屋に何か子育て上の は? なんとそれは雄のヤマガラだった。 工さんが、仕事をしているような音色が山に リズムの良い音が聞こえてくる。腕のいい大 れっ! 違うか!」と気付いたようで威嚇行 ところが野生の生き物であるヤマガラはそ いろいろな感動をくれた。気候が例年 野

ガラが蛾のような虫をくわえて巣の出入りをさな雛の声が聞こえる。見ていると親のヤマ



ヤマガラが盛んに声を出している。残りの子すぐ前で子育て開始をした事が嬉しかった。まなり飛び出した。巣立ちの時だった。親のきなり飛び出した。単立ちの時だった。おり返している。今年も我が家のベランダの繰り返している。今年も我が家のベランダの

供の巣立ちを促しているのだ。見ると橙色の くちばしでグレー色の顔をした子供が不安げ と空めがけて飛んでいった。 ち!」と必死に鳴いている。 いいが、ベランダの内側に入って来てしまっ 経過しただろうか、思い切って巣立ったのは メートルよっても隠れようともしないが、 く見ているしかない。 た。親は「そっちじゃない! かなか巣立とうとしない。 に野鳥小屋から顔を出して外を見ている。 親の声に気付き、やっ 1時間はそのまま こちらはともか こっち! こつ 数



備考: 餌場の窓には必ず網戸を付けています。ガラス窓ですと間違ってぶつかってしまう危険があるからです。その為、写真は鮮明に撮ることが出来ません。そこで羊毛フェルトで作った少しデフォルメしたヤマガラの写真を使って紹介しています。

要な食べ物にもその影響はあって、 の虫や木の実などヤマガラが生き抜く上で必 違いさせてしまうほどだから。 悩んだ事もあったけれど、8年間ヤマガラ達 餌やりは冬場だけという考えもあって、 会おうね。それまで元気でいてね 事ができるのも、 年夏には餌場にはこない。道志村にはきれ いる。今年は猛暑になるらしい。さすがに例 立ててひまわりの種の中を取りだして食べて の餌台で「カン・カン・カン・カン」と音を グレー色のヤマガラの子供たちは今日も窓辺 子育てを成功させたのは嬉しい事で、その体 いないと想像できる。2年続きでヤマガラが の来る前の自然のサイクルのようにはなって えている。春ではないのに、春がきたかと勘 よる気候変動は生き抜く上で大変な影響を与 を日々観察していると、やはり地球温暖化に 立派なヤマガラになって、 のだろう。子供たちのつぶらな瞳の顔を見る な渓流があるから、そちらの涼しい所にいる てもいいと今は考えている。気候変動は人が 力のベースに餌場が有効なら冬場だけでなく 産業革命後おこしてしまった事だから。 あと1ヶ月ほど。 また秋になったら 当然、 私も

(2022年5月31日/佐藤八重子)



松の冬支度が整った。 もない。やらなくてもい 完成。 縄を張り、藁で編んだ笠 物心ついたときにはあっ でも、やめない。今年も 雪がそれほど降るわけで 業。庭先の竹を伐りだす をするようになった。見 の頃からか父親が雪吊り いんだけど、と言いつつ、 結え付け、二日がかりで を見ながら縄を伸ばして をかぶせ、全体のようす ところから始まり、竹に ぎ、20年ほどが経つ。 様見真似でそれを引き継 た庭の松。そこへ、いつ おきたい仕事の一つだ。 新年を迎える前にやって 今年は6年ぶりの新調作

14

2021年12月10日·11

つらえる。毎年恒例の、

庭の松に雪吊りをし



























gallery 祭道祖 2022神



岩(本計 7 号 / 2014 年) の

炭焼き特集(本誌7号/2014年)のさいに山中湖の民宿で見せて頂いた道志産の炭俵。両端は枝を敷き詰め、縄で格子状に縛ってある。差し込まれた木札に「楢」の字が読み取れる

「ストロ」と呼ばれる、俵を編むさい に使った木製のおもり

炭俵

ある。」

-8年前、炭焼きについて調べて

「道志の萱で造つた炭俵は天下一品の評が

です。「天下一品」の言葉にひかれ、それま

いたとき、村誌『道志七里』で見つけた一文

様続み

各戸では主婦や娘が日当のよい庭 たに蓆を敷いて茅草で炭俵を編ん だ。この茅草は村の萱山、無盡茅 だ。この茅草は村の萱山、無盡茅 が、道

一俵正四貫が厳守され、風袋毎四門、七百目、良質のものは梱包型に入れて角俵に装い、白楢上、雑混上、雑荒上、雑荒並等に等級がけをする。一日の山稼を終ると、やせうまに三、四俵宛を結んで、急峻な粗道を一歩一歩と下りて来急峻な粗道を一歩一歩と下りて来

4年前、みなもと体験館で炭焼きをしてい

もあったのではないか。そのあたりについて

ただけではなく、編み手の技術によるところ

いずれ確かめてみたい、と思っていました。

る萱とはどんなものか。また、萱の質が良かっ

に気になり始めました。天下一品の俵ができで考えたこともなかった「俵」について、急

2年前、みなもと体験館で炭焼きをしていたかたに、昔炭俵を編むときに使ったというさの、持つとずしりと重みのある、角のとれた桑の木片でした。長辺の真ん中あたりに穴た桑の木片でした。長辺の真ん中あたりに穴た桑の木片でした。長辺の真ん中あたりに穴れる編んだといいます。

にいました。いつかじっさいに編むところをうに使ったのか、今一つ具体的に想像できずます興味深い一方、これをじっさいにどのよます興味深い一方、これをじっさいにどのよ調べると、地域によっておもりの素材や呼



【写真に残る俵編みの風景】すだれを編んでいるようす。俵編みはもっぱら女性の仕事だった。おもりの形状や編み台の高さなど、俵編みの 細部が確認できる。(右端に写っているのは昭和 25 年に来日し、白井平地区に住んでいた宣教師の「メイ先生」(本誌 8 号に関連記事)。)

米俵に比べれば簡単なものなのかもしれな

い、とも思いました。

ということは、「桟俵」のない炭俵づくりは、

にすぎないことがわかり、やや衝撃でした。を編む工程は、米俵づくりにおいては下準備

それまでおもな作業だと思っていた、すだれ技と工夫があり、醍醐味があるということ。

くりと、最後の胴の部分との組み立てにこそ

俵の両端に蓋のように取り付ける「桟俵」づ

米俵をつくってみてわかったのは、米俵は、

見てみたいものだと改めて思っていたところ、その年の冬、「長野に米俵をつくっている人を訪ねてつくりかたを習いに行く」といる所であれての後会があり、思いがけず長年の夢が叶いました。







【編んでみたすだれ(左・右上)】おもりは適当な太さの枝をぶつ切りにしたものを使用。軽すぎても重すぎても役に立たない。 【前川タサさんのミニ炭俵(右下)】みなもと体験館には、数年前竹炭を焼いたさいにつくった、鉛筆立てほどの大きさのユニークな炭俵が 展示されている。子どものころに見た俵を思い出しながらこれをつくったのは、秋田県出身の前川タサさん。藁と萱の両方で製作。縦糸に カラフルな革紐を使い、底の部分は糸を張るなど、オリジナルの工夫が施されている。/この俵を編むために体験館のスタッフが編み台を

製作。その編み台があることを知ったおかげで、すだれを編んでみることができた。

ればよいのか。

あるいは、編む前に水に浸したり叩いたりす

きれいで、柔らかさもあって扱いやすいのか。

ました。雪が積もる前に収穫したものならば

かかったうえに、

隙間も余計にできてしまい

除いて茎だけを使いましたが、その分手間が

返して編み込むことができませんでした。ま 折れてしまい、写真の炭俵のように端を折り

た、葉が黒ずんでいるため、できるだけ取り

をうまく加工する工夫を知らなければ編むの

て、こもを編むこともできません。また、材

は簡単ではないこと。乾燥した萱は曲げると

手の技術によるところもあったのではな るには、もうしばらくかかりそうです。 に8年かかりました。天下一品の炭俵がわか たり前のことのようですが、これがわかるの をつくるには、さらにそれを加工しやすくす いるものだろうということ。そして、よい俵 で②まっすぐで③柔らかさと丈夫さを備えて でみてわかったのは、よい萱とは、①きれ か」「萱の質が良かっただけではなく、 る工夫が必要であること。こうして書くと当 「天下一品の俵ができる萱とはどんなもの 初めの問いに戻ると、じっさいに編ん 編み

(香西恵

米俵のつくりかた @長野県飯島町







○組み立てる(かがりづけ) こもの両端を濡らして折り曲げ、桟俵を かぶせて紐で綴じる。胴の部分を均等に 縛る







❸桟俵(さんだわら)をつくる 濡らした藁を束ねて折り返したものを治 具の上に広げ、回しながら円形に編み込んでいく



●藁をすぐる 櫛状の台に藁を通し、茎を残して余分な 葉を取り除く



②こもを編む 編み台を使い藁でこもを編む。編み上がったら、端を切り揃え、筒になるようにつなげ、両端に紐を通しておく



教えてくださったのは…

長野県上伊那郡飯島町で、藁細工で地域を盛り上げる「合同会社わらむ」の酒井裕司さん。米俵をはじめ、猫つぐらやわらじ、しめ縄など、藁細工の技を継承し、資源としての藁の可能性を探り、余すところなく生かすさまざまな活動をされている。3日間みっちりと米俵つくりのおもしろさと藁の魅力を教えていただきました。

●合同会社わらむ https://komedawara.net



完成した米俵と。(2021年2月11日)(右から2番目が酒井さん)



[寄稿]

農閑期の暮らし

使う。 秋田県は豪雪地帯である。それでも私の暮らしは雪のなかでの営み あたり、日照は極めて少ないので、寒さをしのぐために燃料もたくさん は滑らないようにスタットレスタイヤに履き替える。日中の気温も 0 度 なんり、歩くときは長靴、車 をあたり、一般である。

そのために、秋田の冬はどうしても活動が停滞してしまう。経済も然りである。戦後はこの気候であろうとも都会並みの生活に近づくことを目指してきた。それは、現在の秋田が関東や関西と明らかに異なる気候なのに、経済活動は一律であることからも、大枠では達成されたといっていい。これは、秋田に暮らす多くの人々の願いであったことも事実ではあるが、国家的な戦略であり、国際的な流れだった。そのために、雪は経済を滞らせる存在とみなされ、大きな除雪車が毎日稼働し、そこには大きな予算が投入される。

たとえば、秋田では山菜採りが盛んである。山から収穫してきた山菜は人々の雪の中での暮らしは、気候のなりに合わせる暮らしであり、特に山間部では、冬は他地域と隔絶された時間であった。冬に備え、人々はしかし、戦前・戦後の間もない時期までさかのぼれば、秋田で暮らす

の薪は春からせっせと用意しておく。夏の間に乾かさないと、良質な薪ると冬の食卓はとても華やかである。最近人気がある薪ストーブも燃料塩漬けにし、冬季の食料がない時期に備える。事実、山菜の塩漬けがあ

として使えないからである

冬の備えをした。 う人もいる。いずれにせよ、冬は春からの仕事に備え、春から秋までに ていた。暖かく暮らしたと表現する人もいれば、 けらなど、衣料も多くは自分たちの田んぼから取れたわらを使って作っ の間もかなり忙しいのだ。さらに縄を編むことも必要、 かる。農家は自分たちの作るお米の取れる分作らなければならない。冬 作るのは農家の冬の仕事だった。ひとつの俵を作るのに結構な時間がか 昭和30年あたりまで、収穫されたお米は俵に入れられていた。 備え、多くの準備をする。その中でもっとも大切なのが、俵編みである。 何も出来ないのかといわれればそうではない。人々は春からの活動期に 人々は冬に備え備蓄をし、冬を暮らしてきた。冬の間、 冬をしのいできたとい 雪靴、 雪に埋もれて その俵を わらじ、

秋田での暮らしの特徴は、備えることが暖かい地方より、多く必要なことだろう。その時期に次の仕事の備えをしておくことである。北国の人がまじめであると言われるのはここら辺の特徴に起因している。戦前の生活から学ぶことは大いにあると思う。少なくとも、農家としては、自然の流れにならって、その時期の仕事に精を出している。

(2022年2月 宮入広光)

23

no.26

ま仕事拝り ① Lストラン HOROHORO 佐藤孝一 ひづるさん



和出村付近の国 道沿いに広い駐車 場と箱庭風のガー デンが印象的な、瀟 洒なレストラン「ほ ろほろ」がある。

ご夫婦が26年前 の結婚を機に営業 を始めたころは、夜 の飲食がメインだっ たが飲酒運転規制 後は、昼食にお客が 流れてきたと言う。 料理の味は「すげえ おいしそう」という写 メのお客もいて、リピ ーターも多い。平日 は村民が、週末は村 外の利用客がよく訪 れている。おすすめ は「完熟トマトソー スのふわふわオムラ イス」とのこと。一度 は食する価値あり。

作画 仲井義晶

編集後記

今号を制作中に、「えじっこ」という言葉を知りました。かつて山へ行くときにお弁当などを入れた、菅(スゲ)縄で編んだ網状のリュックサックのようなものの

ことだそう。炭俵の素材、萱 (ススキ) は身近ですが、 菅はあまり馴染みがありません。「えじっこ」と「菅」 について、気になるこの頃です。